

日野薬師ひの、やくしは一言寺いちごんじの南日野村ひのむらにあり、法界寺はふかいじと号す。本尊薬師如来は金銅の坐像なり、日天月天十二神二王等運慶うんけいの作にして、左右に安置す。「世人乳出の祈願を籠るに靈験いちじるし」旧阿弥陀堂にして、後壇には丈六の弥陀の像を安置す、定朝ぢやうてうの作なり。初は日野左中辨資業卿さちゆうべんすけなりの本願にして諸堂巍々たり、観音堂五大堂大門の蹟、今田畑の字となりて当寺のまへにあり。日野村には則日野家別荘ひのけの旧跡あり。「今土人内裡の芝といふ」